

# 中学生の職場体験 (西秋川衛生組合 高尾清掃センター)

あきる野市内の中学校において、近年中学生の職場体験学習がおこなわれています。今回は高尾清掃センターに、夏休み期間中を利用して地元五日市中学校2年生2名がペットボトルの選別処理を3日間体験しました。

体験した二人は、  
「体験場所が決まった時、正直やる気が出ませんでした。でも、キャップを外したり、中が汚れていてリサイクル出来ないものを取り除いたりしました。1日に運ばれてくる量の多さに驚きました。また、手や足が疲れて大変な仕事だと思いました。今まで自分が、分別を意識したことが無かったのがとても良く分かりました。これからは、分別を意識してマナーをしっかり守っていきたいです。」と、感想を話してくれました。(H.M.)



## 節約主婦はエコ上手

コンポストを利用して堆肥化する以外に、調理の段階で捨てられてしまう野菜や果物の皮の部分には、多くの栄養が含まれているので上手に利用すると生ごみを減らすことができます。いくつか例を紹介したいと思います。



### ①皮ごと調理、皮を利用する

玉ねぎの皮は、干して乾かしてからミキサーなどで粉末にすると、汁物に加えたり、煮出してお茶にすることができます。

柿やりんごなどの果物の皮も、干して漬物の風味づけやチップスのように食べることができます。



### ②葉を利用する

大根やカブねぎの葉の部分は、刻んで天日干ししておけば、保存ができ、味噌汁やめんつゆに入れるだけで薬味になります。



### ③種を利用する

カボチャの種などは炒ってはさみで端を切って中身を食

ことができます。スイカやゴーヤなどの柔らかい種は炒って殻ごと食べられます。



### ④出がらしや食べ残しを利用する

お茶の出がらしはしょうゆ、酒、砂糖で煮て佃煮にしたり、ご飯に炊き込んで食べてもおいしいです。

子どもの食べ残しのご飯などは、よく洗って天日干しすれば 干し米になります。瓶に入れて保存しておいて、量がたまったら、少量の油を敷いたフライパンで炒って、しょうゆで味つけをすると、おいしく食べられます。(K.A.)

## 編集後記

平成19年8月16日、74年ぶりに日本最高気温が更新された当時、「へらすぞう8号」の編集後記に『「人類存亡の危機」という、大げさでない切羽詰まっている時を、強く強く感じさせる暑い暑いこの夏でした。』と記したことを思い出しました。

明治31年統計開始以来、113年間で最も暑い夏(6~8月)となった今夏。毎年言い続けられる「異常気象」。もはや「異常気象」ではないことを知るべきでしょう。毎年9月9日に行われる「二宮神社 生姜祭り」で販売される生姜が、猛暑のために「根腐れ」し、収穫が例年の半分だったとも聞きました。

今、私達がすること、しなければならないこと(出来ること)は地

球温暖化のスピードを少しでも遅れさせることです。それには、まず便利さに慣れてしまった、生活スタイル・習慣を直していかなければなりません。冷暖房の温度設定、電灯の小まめなOFF、トイレトペーパー・ティッシュの使用量等々。身の回りで出来る小さなことの積み重ねが、今まで以上に必要になります。今回、この紙面で採り上げた「落ち葉の堆肥化プロジェクト」も個人レベルから、地域住民を巻き込んだ大きな輪に拡げていく、取っ掛かりであります。こういう輪が大きくなればなるほど、「ストップ・ザ・地球温暖化」に拍車がかかるのではないかと思います。(S.M.)

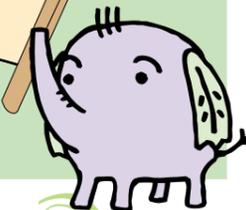
# へらすぞう



げんくん

第14号 2010年10月

へらすぞう



あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動している団体です。



## 落葉の堆肥化でエコ生活

いのちは巡り巡っている。地球上のすべての生き物は、他の生き物のいのち(栄養)によって生きています。

落葉や生ごみを燃やせるごみとして焼却してしまえば、それに含まれるいのち(栄養素)も一緒に焼却されなくなってしまいます。ところが、落葉や生ごみの堆肥化をすると、いのちの輪をつなぐとともにごみの減量とごみ袋の節約にもなります。

もうすぐ落葉の舞う季節になります。あなたも堆肥化でエコ生活をしてみませんか。

## あなたにあった堆肥化はどれ?

### 屋内やベランダで



EM菌ポリバケツ

生ごみ専用で堆肥化を行う。(土に混ぜて熟成させてから使用)

ダンボール方式

生ごみ専用で堆肥化を行う。(箱の中で熟成させられる)

電動処理機

乾燥タイプと発酵タイプがある加熱することで短期間に堆肥化ができる。



### 庭や畑がある



そのまま土に埋める

穴を掘って埋める。(生ごみ・落葉) ※畑で出た野菜くず等も埋めれば肥料に!

コンポスト容器で

市販の容器を設置して、投入する。(生ごみがメイン、落葉も可能)

枠(わく)を使って

木などで作った枠の中に落葉等を入れて堆肥化を行う。



## 枠を使った「落葉堆肥化」モデル事業が始まります。

ごみ会議では、市・草花台パークハイツ町内会と協力して、草花台パークハイツ内B公園にこの秋から落葉堆肥化枠を設置して、落葉の堆肥化を行います。(T.S.)



# 日本の里山、あきる野の里山

落ち葉は自然に堆肥になって多様な植物を育て、循環しています

貯水池としての働き、川の下流への養分供給地、酸素の供給として昔は薪の供給地・・・  
様々な働きをしてきた里山



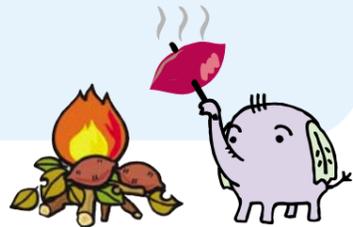
野口貞夫さん  
(実行委員長)

市の行なった「多摩島嶼(とうしょ)子ども体験塾」という事業をきっかけにして始めました。

子どもたちに里山体験をしてもらうため、里山整備等を目的に協力者を募っています。

昨年秋に、枠を作って落ち葉を入れました。来年、カブトの幼虫もいっぱいできて子どもたちに喜んでもらえるのを楽しみにしています。

竹やイチョウの葉が混じると、なかなか分解しないんです。



そして何より 美しい!!

とくに、新緑の頃、紅葉の頃、

私たちの心は和みます

野口金雄さん  
(菅生副町内会長)



昔この山には、キンラン、ササバギンラン、カンアオイなどが生えていましたが、今は見当たりませんよね。

本来里山(雑木林)は15年位で、全部木を切って再生をはかります。木が茂りすぎると日光がささなくなり、立ち枯れしたり、笹などはびこったりして、山は荒れ、植物も育たなくなるのです。

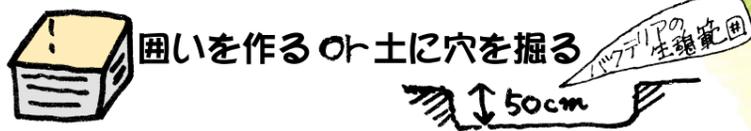
下刈りしないとヤブになってしまうからね

腐葉土をいれて作った野菜は、化学肥料だけで作った野菜と比べて、全然味がちがうよ。



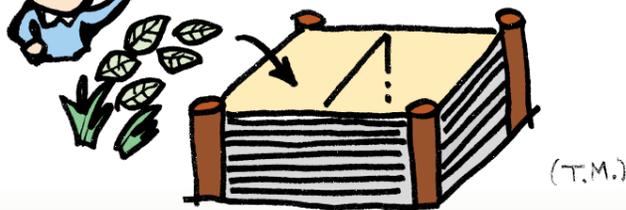
## 家庭で出来る 落ち葉の堆肥化

その1



私の場合...

囲いのトタンの波板とくいて作り、まん中にしきりを入れて作りました



腐葉土は菜園や草花の土にいきます

その2



## 公園に落ち葉の腐葉土を!

昨年暮れ、朝日新聞の天声人語で明治神宮の落ち葉が話題になっていた。長年宮司さんたちが落ち葉を木の根元に放り、今や都内一豊かな土を誇っているという。

今年もじきに落ち葉の季節がやってくる。街路樹の落ち葉をゴミとして出すのではなく腐葉土にする、そんな試みを町中の公園で繰り広げてもいい時代になったのではないだろうか。(R.K.)



イラスト A.S.